

報 庁

宮 柱



第 224 号  
編 集 部  
教化常任委員会弘報部  
発 行 所  
愛 知 県 神 社 庁

目 次

―感懐―東海の霊山（本宮山・砥鹿神社のこと）……………	2
第九十一回神社庁協議員会……………	3
伊勢神宮崇敬会の集い……………	4
平成二十年度神社庁決算……………	5
平成二十二年度神社庁予算……………	7
神社庁総会……………	9
支部長並支部事務会計担当者会……………	10
県氏子青年連合会総会……………	10
総代幹部研修会……………	11
各種研修会・講習会開催……………	12
・ 初任神職研修会……………	
・ 神職養成（直階検定）講習会……………	
・ 歌舞指導者養成講習会……………	
・ 祭式研修会……………	
夏季教化研修会……………	13
祭祀要目……………	14
はくと私の神社ウォッチング……………	14
委員会概況……………	15
関連組織概況……………	15
神社庁日誌抄……………	16
神社庁関連諸行事予定……………	17
月刊若木より……………	17
神社新報より……………	17
切り抜き帳（県内各紙より）……………	19
支部だより……………	24
社頭にて……………	26
神社庁よりの通知（抄）……………	26
女子神職会会長に就任して……………	27
任命等……………	27
編集後記……………	28
鹿屋海軍航空基地慰霊祭の旅……………	28



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

## 感懐

## 東海の霊山・本宮山・砥鹿神社のこと

三河国一宮砥鹿神社宮司 香 取 武



本宮山は標高七八九・二M、木曾山脈の南西延長部を占める三河開析台地の最南端に位置し、地質学的には内帯の東端にあたる。

山頂附近緩傾斜面があるが、地形を見るに三小峯に分かれており、南峯に砥鹿神社奥宮が祀られており、西北小峯に末社岩戸神社、東北小峯に丸山公園がある。一帯の岩石は、領家変成岩類の雲母片麻岩と珪質片麻岩からなっており、特に珪線岩は末社岩戸神社の国見岩附近に多く、日本では産出の少ない鉱物の一種と言われる。又、山内でも殊に奥宮鎮座の神域には巨磐奇石が多く、凡そ一〇〇ヘクタールと云う境内域の中でも特に神社の周辺神域を第一種禁伐地区と定め、神域の尊厳を維持助長す

ることを目的とした。砥鹿神社奥宮の社叢は杉、桧、樅の巨木を混じえた神域に相応しい美林となっている。社叢内にはホクチアザミ、シロモジ、ミカエリソウ、エンシユウハグマ等植物も豊富で貴重な存在となっている。愛知県は昭和四十七年に「砥鹿神社奥宮社叢」という名称のもと天然記念物に指定し、その保護を図っている。このほか本宮山周辺域は県下における唯一のシカの生息地でもあり、ニホンザル、ウサギ、リス、タヌキ、キツネ、イノシシ等動物相をも成している。また本宮山全山が愛知県立本宮山自然公園特別地域に含まれるが、神社境内としては表側六合目以上全部が神社境内で、千古の天然林や植林相で覆われている。

山頂は奥宮本殿を始め社務所、参籠所とその周辺に末社守見殿神社、荒羽々気神社、末社八柱神社が鎮座し、奥の院と云われる岩窟の中に岩戸神社が祀られ、東南座

王峯に末社乙女前神社が夫々鎮座している。末社群の他には、丸山公園に古代祭祀遺跡を見ることができ本宮山への信仰の深さを感じさせる。

本宮山が神体山或いは霊山と仰がれる所以の中に在つて、幾つかの伝承を見るに、天狗寄せ神事なるものが神主家である草鹿砥家に一子相伝として継承されていたが、残念ながら明治維新の節に断絶してしまった。

また、大天狗小天狗の話や、殊に明治三十八年、日露戦争の時の逸話で、新城市作手村の出征兵士の父が夜提灯をともして本殿正面の格子に提灯を掛けて息子の武運長久を祈り、さて帰ろうとすると其の提灯がなくなつており仕方なく他の人と同道して帰つた。一方満州の荒野で転戦していた息子は斥候兵として前戦偵察にでたが途中道に迷つて途方にくれていると、前方からフワリフワリと灯りが近づき、よく見ると兵隊の家の紋の付いた提灯であつた。無我夢中でその灯りに誘われてついていって幾時間の後に本隊に帰り立派に偵察状況を報告することができた、と云う話が、本宮山霊験談として

三河一円に語り継がれてきた。近年では昭和五十七年、農業技術研究会で全国的組織でもある「相似象植物波研究会」の有志が奥宮へ一泊し、植物波研究会を開いた折、物理学で云う摂動場或いは摂動地と云う気磁場があり、全国的にも優れたスポットであると云われ、此処へタネモミ、イネモミ、野菜の種子を持ち込み波動にさらすと、生育や実入りがよく成長を促す効果が在るといわれた。

現在は本宮山も新しい顔を以つて登拝者を迎えるようになった。近年ウォーキングやハイキングが盛んになり、本宮山も丁度手頃なお山のひとつと数えられるようになってきたからである。

現代社会に在つてさまざまなストレスにさらされ、心の癒しを求め人は絶えない。健康増進のためにも野鳥の啼き声に耳をかたむけ、時には小動物との遭遇もあり、いつしか山登りを重ねるうち森林浴により体内の免疫力は更に向上し、一日一日満ち足りた生活を送る喜びを感じていくのも霊山、神体山としての存在感の成せるところであり、感謝を以つて敬仰していききたいものである。

# 第九十一回神社庁協議員会

六月二十二日、熱田神宮会館に於いて、第九十一回神社庁協議員会が、協議員百二十九名中九十三名が出席し開催された。



庁長挨拶

神宮遥拝、敬神生活の綱領唱和に続き、小串和夫庁長が挨拶、議事は稲熊八左加協議員会議長により進行され、初めに議事録署名名人に海部支部伊藤祥文氏、豊田支部塚本康雄氏が指名され、次に事業報告、決算報告、予算審議等が行われ、全ての議案が承認された。議案第十四号に関しては、今年度は本庁負担金増額のために予備資金より繰入をすること、将来は本県負担金増額も検討しなければならないことが報告された。

- なお、当日の議案と報告の抜粋は次の通り、決算・予算の概要は五頁から八頁に掲載。
- 愛知県神社庁協議員会議案**
- 議案第一号 愛知県神社庁協議員異動報告〔宮柱二二二号にて掲載〕
  - 議案第二号 愛知県神社庁顧問・参与異動
  - 顧問 服部 貞弘 平石 正彦 飯田 清春
  - 参与 野々山正彦 伊奈麻古登 半田 寛
  - 議案第三号 愛知県神社庁協議員会議長・副議長異動報告〔宮柱二二二号にて掲載〕
  - 議案第四号 愛知県神社庁協議員異動報告
  - 支部 氏名 氏名
  - 熱田神宮 渡邊 肇 小串和夫
  - 名古屋第一 宮田理博 副野 均
  - 吉見英和 川幡平隆
  - 福井保男 伊藤美樹
  - 岩田武一 三谷博之
  - 名古屋第二 遠山光男 村上 廣



協議員会議事

名古屋中	白井貞光	初山吉上	東	春	加藤剛之
名古屋瑞陵	岡谷篤一	河村健司	愛	知	松本健男子
野々山密雄	平尾夏樹	水野 浩	西	春日井	木村富雄
名古屋第五	連 史朗	磯部嗣嗣	尾	北	加藤知史
大原良彦	安原鐵大	福岡俊基	西	春日井	神田 薫
近藤一夫	山口泰直	栗木清章	尾	北	河村 鋭
久米長夫	吉田 玄	三輪隆裕	尾	北	牧野武彦
成田眞一	木全 修	吉田 稔	尾	北	大竹喜久雄
石黒捷雄	安田 功	村瀬 哲	尾	北	峯 直樹
岩本吉郎	旭形幸彦	村上邦正	尾	北	竹内正憲
飯田清春	三浦正典	山脇敏夫	尾	北	則竹稔晟
大森一人	長繩代蔵	豊田精彦	尾	北	野口弘隆
辰 守弘	大島郁雄	川北正親	尾	北	和出泰夫
平野朝彦	上原信彦	森岡文彦	尾	北	前野俊雄
新美勝彦	河村米光	藤岡宣幸	尾	北	伊藤祥文
平野朝彦	長繩代蔵	江元梅彦	尾	北	大島大東
春 日 部	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	花井勝美
長繩代蔵	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	岩田文夫
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	木村吉一
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	林 宣昭
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	山田友裕
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	畔柳春雄
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	糸 富夫
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	野村文男
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	神谷俊彦
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	神山嚴夫
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	新冢正比古
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	杉浦澄雄
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	筒井隆博
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	服部憲明
大島郁雄	大島郁雄	江元梅彦	尾	北	田中明一郎

豊	田	神尾俊治 大須賀久人	支部	就任	退任
豊	塚本康雄 石倉 彰 青木康之	鈴木昭彦 松田 修	海 部	伊藤祥文(二号) 和出泰夫 二十二・四・一	委嘱年月日
東	加茂	安藤芳行 塚田武士	宝	飯 香取 武(二号) 二橋一彦 二十二・四・一	
豊	橋	白井清夫 高橋善万	議案第六号		
豊	川	鈴木五十機 鈴木孟大	神社本庁評議員異動報告		
北	設	清水 晃 宮下伊奈男	小串和夫 牧野武彦 白井清夫 服部憲明 大森一人		
新	城	鈴木道人 加藤博之	議案第七号		
宝	飯	二橋一彦 香取 武	東海五県神社庁連合会評議員異動報告		
田	原	草鹿砥宣和 荒木田健	野々山密雄 大島大東 新家正比古		
蒲	郡	小久保博史 稲熊八左加	議案第八号		
名古屋第五		伊藤正夫(三号) 欠員	愛知県神社庁諸会議要項報告		
海	部	伊藤祥文(二号) 和出泰夫 二十二・四・一	議案第九号		
宝	飯	和出泰夫(四号) 伊藤祥文 二十二・四・一	愛知県神社庁事業概要報告		
議案第五号		飯 香取 武(二号) 二橋一彦 二十二・四・一	議案第十号		
愛知県神社庁支部長異動報告			平成二十年度愛知県神社庁歳入歳出決算並財産目録		

予備資金積立金	議案第十四号	
明治維新百年記念奨学金積立金	平成二十二年愛知県神社庁歳入歳出予算案	
東海五県連合総会積立金	議案第十五号	
職員退職積立金	平成二十二年愛知県神社庁維持財団歳入歳出予算案	
運用資金積立金	議案第十六号	
遷宮記念資金	神社庁理事補欠選任の件	



協議員会議事

### 伊勢神宮崇敬会の集い

八月二十一日、熱田神宮会館にて伊勢神宮崇敬会の集いが開催された。熱田神宮正式参拝の後開会、国歌斉唱、神宮遥拝に続き、伊勢神宮崇敬会会長豊田章一郎氏、開催県神社庁長として小串庁長、来賓として全国神社総代会東海地区理事川井祐一氏より夫々挨拶があり、来賓紹介、神宮並びに伊勢神宮崇敬会現況報告、伊勢神宮崇敬会活動報告の後、皇室ジャーナリスト久能靖氏が「祈り続ける皇室」と題して講演。氏は天皇皇后両陛下が最も大切にしておられるのが祭祀であり、心をこめて国民の安寧を祈っておられることを様々な事例を挙げて語られた。

講演

# 神 社 庁 総 会



物故神職慰霊祭

七月二十二日、熱田神宮会館において県内神職・総代三百名が出席して神社庁総会が開催された。

熱田神宮正式参拝に続き、昨年就任した愛知県神社総代会会長水野耕太郎氏が挨拶の後、名古屋第五支部員の奉仕により物故神職慰霊祭が斎行された。続いて神職功労者として名古屋中支部河村健司氏を始め十三名が表彰された。本庁幣伝達に続き総会が開催され、神宮遥拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和の後、小串庁長が「先の鹿屋海軍航空基地慰霊祭には二百七十八名の参加をいただき感謝したい。また、九月二十四日には県の神宮大麻暦頒布始奉告祭が斎行される。遷宮を間近に控える今大

麻頒布活動を通じ更に機運を高めていただきたい」と挨拶。続いて議事に移り、庁長を議長に議事が進行した。指示事項の①については、年間を通じて社頭頒布をして欲しいとの要望があり、②については、三千三十六社中二千七百四十四社より回答があり、神宮大麻増頒布施策検討特別委員会にて集計の上頒布向上の指針とするとのこと報告された。最後に今般神政連愛知県本部長に就任した服部憲明氏より挨拶があり、会を終了した。



功績表彰

## 報告事項

- 一、第六十二回神宮式年遷宮奉賛会納金状況について
- 二、鹿屋海軍航空基地慰霊祭について
- 三、日本会議愛知県本部長更迭について
- 四、第二十二回参議院選挙結果について



本庁幣伝達

## 指示事項

- 一、①神宮大麻・暦頒布推進目標について
  - 支部「前年度頒布数を割らない」
  - 頒布従事者「増やせ一体・減らすな一体」
- ②神宮大麻に関するアンケート

## 卜用紙回収について

- 二、各種研修・講習について
- 三、愛知県神社関係者大会について
- 四、東海五県神社庁連合総会について
- 五、新年度行事予定について

## 功績表彰

支部	神社名	職名	氏名
熱田神宮	熱田神宮	権禰宜	大原 和生
熱田神宮	熱田神宮	権禰宜	加藤 陽生
名古屋中	神明社	宮司	河村 健司
半田支部	豊石神社	宮司	神谷 典彦
春日部支部	神明神社	宮司	大馬 郁雄
西春支部	神明社	宮司	栗木 清章
西春支部	上島神明社	宮司	神田 薫
尾北支部	若宮八幡社	宮司	岡地喜代春
尾北支部	八劍社	宮司	中山 容孝
碧海支部	檀智宮神社	権禰宜	三岡 荷代
碧海支部	知立神社	権禰宜	神山 茂
西尾幡支部	八幡社	宮司	二村 岐子
東加茂支部	八王子神社	宮司	稲垣 吉治
慰霊祭祭員			
斎主	築地神社	宮司	大原 良彦
祭員	日吉神社	宮司	安原 鐵大
祭員	龍神社	宮司	村治 儀嗣
祭員	稲荷社	権禰宜	村上 功一
祭員	櫻田神社	権禰宜	長谷川弘章
伶人	熱田神宮職員四名		

物故神職 (自平成二十年七月二十二日  
至平成二十一年七月二十一日)  
支部 神社名 職名 氏名  
逝去年月日

海 郡 大井神社 宮司 服部 幹雄氏  
二十・十・九  
中 島 住吉神社 宮司 牧野 勉氏  
二十・十二・二  
名古屋緑南 霧袋露宮 司 栗田 勇氏  
二十一・一・八  
名古屋第二 神明社 宮司 一色 豊氏  
二十一・二・二十  
新 城 八幡神社 宮司 小黒 昌司氏  
二十一・三・七  
半 田 伊久智神社 宮司 平野 照之氏  
二十一・五・二十二



議 事

## 支部長並びに支部事務会計担当者会 ―愛知縣護國神社にて開催―

県神社庁の平成二十二年度開始にあたり、八月十六日、愛知縣護國神社にて六十一名が出席し、県神社庁支部長並びに支部事務会計担当者会が開催された。  
小串和夫庁長挨拶に続いて議事に移った。議事は左記の通り。

### 指示事項

- (一) ① 神宮大麻・曆頒布推進目標について  
支部「前年度頒布数を割らない」頒布従事者「増やせ一体・減らすな一体」
- ② 神宮大麻頒布優良神社表彰推薦について
- ③ 神宮大麻に関するアンケート調査について
- (二) 第六十二回神宮式年遷宮奉賛金納入状況について
- (三) 教育勅語渙発百二十周年記念祭について
- (四) 各種納金期日について
- (五) 「神社庁新庁舎記念誌」お詫びと訂正について
- (六) 季刊誌「皇室」について
- (七) 行事予定について

### 報告事項

- (一) 鹿屋海軍航空基地慰霊祭について 七月十二・十三・十四日 二百七十八名参加
- (二) 第二十二回参議院議員選挙結果について  
比例区 山谷えり子 二五  
四、四六九票(県・五、六四五票)
- 選挙区 藤川政人 九一八、一七八票

以上の点について各々指示・報告がなされた。  
会終了後、一同は当日愛知縣護國神社にて肅行された献燈祭に参列し、英霊に誠を捧げた。



支部長並支部事務会計担当者会

## 県氏子青年連合会総会

去る六月十三日、岡崎市の岩津天満宮(服部憲明宮司)に於いて第二十八回愛知県氏子青年連合会総会が開催された。

同会は県内の十単位会で構成され、本年は各単位会から会員等約七十名が参加。午前十時より正式参拝、服部宮司より由緒等の説明を戴いた後、会場を移し総会が開催された。

会旗入場、神宮遙拝、国歌斉唱、全国氏青協綱領唱和、参加団体紹介の後、高田満穂会長(日吉神社氏青)が「日本の文化である祭を継承し、氏子全員で神社を盛り立てていかなければならない」と挨拶。引続き神社庁理事松本建男氏他来賓より祝辞を戴き議事へと移った。高田会長を議長に議事が進行され、事業・決算報告、事業計画・予算案・役員改選等、全て原案通り可決、承認された。

総会終了後は、岩津天神太鼓「凜」による太鼓演奏が披露され、その後、開催された懇親会では「ノック・ソウル・バンド」のバンド演奏があり、最後に万歳三唱にて閉会となった。

### 総代幹部研修会

六月二十三日・二十四日、県神社庁・県神社総代会の共催で総代幹部研修会が百十三名参加のもと、伊勢市等において開催された。

この研修は地域において指導的な役割を担う総代幹部を対象に、県内または神宮にて行われるものである。本年は神宮に対して更に



岩津天神太鼓「凜」



高田会長挨拶

理解と認識を深めていただくことを目的に、摂社伊雑宮の御田植祭の見学を中心として行われた。



神宮神田にて

早朝、県下四十支部よりの参加者はバスにて一路伊勢市へ、車中にてビデオ「平成に輝く 吉備津神社平成の大改修の記録」等を鑑賞した。内宮到着後は御垣内参拝、御神楽を奉納、続いて楠部町の神宮神田を見学、調度部御料地課山口剛氏より神田の由緒、現在栽培している稲の種類、収穫の現状等について詳細な説明があった。参加者の中には自ら農業を営む方も多く活発な質問が相次いでいた。神宮会館到着後開講式、神尾俊治愛知県総代会理事より挨拶の後、白井清夫副庁長より「遷宮奉賛活動においてはご厚情を賜り深く感謝したい。本県は遷宮に向けて更なる理解を深めるべく様々な活動

を推進している。本日の研修を機に神宮への思いを益々深めて欲しい」との言葉があった。夕食後はビデオ「伊勢 神々の国の物語」を鑑賞、続いて内宮夜間参拝を行った。



白井副庁長挨拶



神尾俊治愛知県総代会理事挨拶

翌日は、中村町月讀宮を参拝後、磯部町伊雑宮の御田植祭の見学に向かった。町を挙げての祭の賑わいの中、参加者は神田において繰り広げられる勇壮且つユーモラスな男衆の姿、清楚な早乙女の御田植の姿に目を奪われていた。昼食後は外宮を参拝、意義深い研修を修了した。



御田植祭



御田植祭



月讀宮参拝

各種研修会・講習会開催

初任神職研修会（七月五日～九日）

神職任用後五年以内の受講が義務付けられている初任神職研修会が、本年度は三十二名の参加者を以って、十名の講師により県神社庁にて開催された。本研修は現任神職の段階において神社本庁・神社庁の組織を明確になさしめ、神社本庁包括下の神職たる自覚を促すものであり、任用されて間もない神職にとっては慣れない講義の連続で大変ではあったが、神職としての基礎を築く上で有意義なものとなった。



初任神職研修会

神職養成（直階検定）講習会（七月二十六日～八月二十一日）

神社本庁階位検定講習会規定に基づき行われる神職養成（直階検

定）講習会が、県神社庁にて開催された。本講習は、短期集約教育の中で神道に関する基礎知識と必要な技能を取得して神職としての素養を深めるとともに品性の陶冶をはかるための訓育を行うためのもので、八科目を十名の講師で指導し、十一名が修了した。

歌舞指導者養成講習会

（八月九日～十一日）

歌舞指導者養成講習会は、同一科目を三年間受講する事で地方指導者認定試験の受験資格を得る事ができる。本年も熱田神宮会館にて、五十一名の参加にて、浦安の舞・豊栄の舞を、神社庁祭祀舞講師高橋守・北野貴之両講師と四名の助教により指導した。



歌舞指導者養成講習会

祭式研修会（八月十二日～十三日）

神職生涯教育の一環として祭式を習熟せしめると共に、祭式の厳修を図る目的で行われ、野々山密雄、河村健司、大澤奉紀各講師の指導の下五十四名が指導を受けた。



祭式研修会

夏季教化研修会

八月三十日、熱田神宮会館を会場として夏季教化研修会が開催された。本年の研修では神社の広報活動が主題に掲げられ、六十二名が出席した。

まず午前九時半に熱田神宮を正式参拝した後、開講式にて牧野武彦副庁長より、「奉仕神社の活動を正しく伝える事は大切な事である。しかし戦後教育により氏子意識が年々希薄化しており、行事が



夏季教化研修会

円滑に執り行われにくい状況になりつつある。これまで神社は地域社会の精神的中核として重要な役割を果たしてきた。本研修を通して、神社が何を命がけて守ってきたか、そして何を後世に伝え残すべきかを考えて欲しい」との挨拶があった。



山脇敏夫常任委員

次いで「神社の広報について」と題する研修に移り、神社本庁地区教化講師・愛知縣護國神社宮司白井貞光講師より、広報は伝えるの上手下手よりも、何を伝えるの

かが大切であると述べられた。その後山脇敏夫教化常任委員より、平成二十一年十一月二十五日に行われた全国教化会議の報告がなされ、当日は高千穂神社宮司後藤俊彦氏の「地域における神社の役割と活動」という発表に、特に啓発を受けたとの弁があった。

午後からは臼井講師より、「写真の威力・体験的ポスター作例の紹介から」と「パソコン画像ソフト使用の具体例と質疑応答」との二題の研修が行われた。ここでは、祭典や結婚式のPR等は、多額の経費を支払ってデザイナーに依頼すれば見映えのよい紙面になるかもしれないが、時としてこちらの意思とは異なるものが出来上がってくる場合を考慮すべきであるとし、広告代理店側では責任がとりきれない問題も多い現況下、自社の職員や身近な人をモデルに用いたり、また神職自ら撮影した画像を使用しても効果的な広報活動が



臼井貞光講師

可能である事等が、長年に亘る経験を活かした実践例とともに提言された。

結語として、「たとえ失敗があったとしても自らの責任下で自由自在に記事を作成するところから始めてはどうか。広報は伝達方法や費用対効果を考える事も必要だが、まずは皆に伝えたいくなるような自意識の湧く行事を作り出していく事が大切である。」との主張があった。また質疑応答では、才能のある職員に一任されがちな広報活動の現状をどうすべきかとの質問があり、常に神社の全体活動として方向づけしていくと良いと思うとの返答があった。その後閉講式となり山脇教化常任委員より受講者代表に修了証が手渡され、次いで臼井講師への謝辞が述べられて終了となった。



修了証授与

### 祭祀要目 (二十三)

## 挿頭「かざし」について

祭祀委員長 武田 正典

「頭髪にさす」「冠にさす」は元々は季節の花や木の枝を折、挿し、優雅な趣を楽しんだものと考えられる。後に造花を用いたりする。

全国の古社、大社では神事の折に祭員や歌舞の舞人が挿頭をすることは多くある。身近では神楽舞の人長舞の舞人は山吹の花、舞楽では春庭花、東遊、喜春楽、蘇利古等季節の花の場合や藤、菊の場合(白・黄色)と役により、異なる。

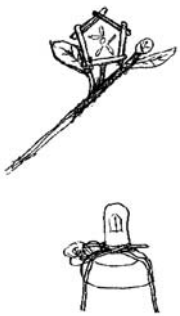
冠の場合は巾子下縁の掛け緒の下に自分自身で挿す(右方に挿す)。物を扱う場合には総て右手を使う(左手を使うは凶事のみである)。古い記録では大臣以上は左方に挿す、また他は右方に挿すとある、これは介添えが行う事からと思われる。

簪「かんざし」髪飾り等も右手を用いるので右方に飾る事となる。特別の場合、花嫁、芸者は左右に飾り立てる。また中国の物を見るに、髪の毛を整えるのに頭上に髪を束ね、(元結で縛る)髪の毛を巻き、整え箸のような形の物(髪挿し)で挿し整える、これも総て右手を用いる。これを頭の頂きで結ぶ髻と言う意味で(頂髻「ちようまげ」という。何所かで聞いたような響きだ。

熱田神宮では正月十一日に踏歌神事が行われている。平安朝時代宮中で行われていた踏歌節会が伝わったと言われているが祭員は冠に桜の「かざし」と山吹の「かざし」をつけるのが古例となっている。

お田植え祭には芙蓉の花の髪飾りを舞姫の頭上左右に飾る。また舞楽神事では演目により挿頭のある物が数多くある。概ね、冠に限っているようだ。

(祭祀委員会)



## ぼくと私の神社ウオッチング

愛知県神社庁は、八月二十四・二十五の両日、長野県木曾郡上松町の赤沢自然休養林内において、県内の神職子弟等約百名の参加のもと、恒例の「ぼくと私の神社ウオッチング」を開催した。



宮前諏訪神社正式参拝

この企画は各地に鎮座する氏神様の護持運営を担う次世代の後継者育成を主な目的として神職子弟や氏子崇敬者の親子の参加を得て行われている。本年は、第六十二回神宮式年遷宮が間近に迫る中、前回御神木伐採地である木曾の赤沢自然休養林にて、御遷宮の知識を深めることを目的に行われた。第一日目、県内各地よりバスで長野県木曾地方へ。木曾川河畔の名勝寢覚めの床にて各自持参の弁

当を食べた後、宮前諏訪神社にて正式参拝。徳原正三宮司の挨拶の後結団式、白井副庁長より「暑い中のご参加に感謝申し上げます。事故の無いようにして、良い思い出を作って欲しい」との挨拶、白井教化委員長からは「ここ赤沢美林は前回御神木の伐採地であり、二十年毎の御神木奉迎送を通して愛知県とも関わりが深い。御遷宮をみなさんの時代に伝えていくためにも、この機会を良い機会として多くを学んでほしい」との言葉があった。



御神木伐採地跡で木遣歌を披露

その後、赤沢自然休養林に移動、全員集合してNPO法人木曾ひのきの森理事長横井剛氏より「日本三大美林の一つがここ赤沢であり、

ここには樹齢三百年以上の檜が数多くが生きています。明治以降はお伊勢さまとの関係の中で大切に守られてきました。また、森は命の源である水を蓄え、やがて木曾川となり、皆さんの愛知県にも送られています」との挨拶を拝聴。ガイドンスを受けてから六班に分かれそれぞれインスタラクターに引率され第六十一回式年遷宮の御神木伐採地へのトレッキングを行った。内宮と外宮の御樋代木を切り出した二つの切り株を前に神宮遙拝、白井委員長の講話の後、池田木材池田聡寿社長が威勢良く木曾に伝わる木遣歌を披露、子供たちも合いの手を入れ元気な声が森に響き渡った。その後、池田木材株式会社に移動、檜製材の現場を見学、宿泊先のねざめホテルに移動。夕食後、夜間プログラムの



紙芝居「とこわか森」

紙芝居「とこわか森」を鑑賞し一日目のプログラムを全て終えた。二日目、爽やかな高原の朝を迎え、一同再び赤沢自然休養林へ。子供たちは班毎に分かれ、森の遊歩道へのチップ撒きを行った。これは檜など端材のチップを遊歩道に撒き、敷きつめることにより、歩行者によって木々の根が傷つくことを防ぎ、また歩き具合も格段に良くなるというものであり、私たちが守ってくれている森を、私たちが守るという意味で貴重な体験であった。その後、森林鉄道に乗りして森の中を見学、端材を使つてのペンダントヘッド作りや木の葉作りを楽しんだ。昼食は林間でのバーベキュー。食後、解団式が行われ白井委員長が「この森は神社本庁も大切にしている場所である。また訪れて新しい発見をして欲しい。そして大事に守られているこの森を思い、更には身近な鎮守の森を大切にしたい。そして御遷宮を皆さんの手で後世に伝えていって欲しい」と挨拶。子供たちは楽しかった自然体験の思い出を胸に家路についた。

感想文

「ぼくのためからの」

しまだしようがっこう一年  
もりつぐふうた  
ぼくは、はじめてひのきのみをみました。  
ひのきはすごくせがたたかかったです。でもひのきはみはすごくちいさかった。そのままうめてもめはでません。  
ぼくはめずらしいひのきのみをたからものにした。

「森の中でいろんなたいけん」

高嶺小学校 五年 市川佳歩  
一日目は、ヒノキの下を歩き色んな木をしょうかいしました。二日目は最初チップまきをしました。ピニールふくろにチップを入れました。たらすごく重かったです。その後森林鉄道にのりました。あつという間におわってしまいました。私はまだ十分くらいかなと思ったら、チップまきをやっていた班がもうペンダントを作っていたのではやくやりたいなと思いました。

「楽しかったチップまき」

国分小学校 五年 山田さつき  
私が一番楽しかったのはチップまきです。なぜ楽しかったかというところ、森林の中でチップをまきながらヒノキやいろいろな木をみれたからです。あと二番目に楽しかったことは森林鉄道に乗ったことです。そのほかにも、いろいろな体験して友達も出たのも楽しかったです。また、長野県に行きたいです。

委員会概況

5/21 ~ 8/20  
庁 神社庁、会館 熱田神宮会館

■祭祀委員会・祭祀研修員会

6/28 合同会議【会館】合同研修旅行の成果と反省、衣紋研修会の打合せ（日程、役割分担、研修内容）。

■教化常任委員会

6/15 六月度委員会【庁】郷土の祭の絵展、総代幹部研修会、鹿屋海軍航空基地慰霊祭、教化常任委員・機動班合同会議、ぼくと私の神社ウオッチング、夏季教化研修会等について協議。

7/22 七月度委員会【会館】鹿屋海軍航空基地慰霊祭について反省と次年度計画、ぼくと私の神社ウオッチング、夏季教化研修会、夏季教化研修会・ぼくと私の神社ウオッチング等反省会等について協議。

7/22 教化常任委員・機動班合同会議【会館】ぼくと私の神社ウオッチング、夏季教化研修会・ぼくと私の神社ウオッチング等反省会等について協議。

8/18 八月度委員会【庁】ぼくと私の

の神社ウオッチング、夏季教化研修会、夏季教化研修会・ぼくと私の神社ウオッチング等反省会、沖繩等慰霊祭の次年度計画等について協議。

■教化機動班

5/21 尾張班班会【14名/尾張大國霊神社】ぼくと私の神社ウオッチングについて協議。

5/25 ~ 5/26 ぼくと私の神社ウオッチング下見【27名】教化常任委員、教化機動班員により、赤沢自然休養林を中心に活動場所と内容について確認、打ち合わせ。

6/8 三河班班会【9名/知立神社】ぼくと私の神社ウオッチング、本年度団地大麻頒布活動について協議。

6/19 名古屋班班会【5名/名古屋市内】夏季教化研修会等の打ち合わせ。

7/5 尾張班班会【14名/尾張大國霊神社】ぼくと私の神社ウオッチング下見報告、実施要綱・しおり等の検討。

8/16 尾張班班会【4名/尾張大國霊神社】ぼくと私の神社ウオッチング持参品の確認、参加者名簿・部屋割、バーベキュー席名札、しおりの作成・確認等。

■I-T委員会

6/22 【庁】神社庁ホームページリニューアルについて協議。

8/3 【庁】神社庁ホームページリニューアルについて協議。

関連組織概況

5/21 ~ 8/20  
庁 神社庁、会館 熱田神宮会館

6/23 県教育関係神職協議会【指定団体】役員会【7名/庁】全神教理事會報告、第五十一回全国大会・中央研修会等について協議。

7/22 役員会【9名/庁】第五十一回全神教全国大会・中央研修会、愛神教總會、「かんなび」七十四号などについて協議。

■神職保護司会【指定団体】

7/22 総会【庁】近況報告等。

■神道青年会【指定団体】

5/26 定例会「神宮研修会」【31名/神宮】

5/28 第十二回理事会【30名/砥鹿神社】

5/28 第五回弘報合同委員会【9名/砥鹿神社】

5/29 第十回事業委員会【10名/尾張大國霊神社】

5/31 第六回わかしゃち担当委員会

【11名／糟目春日神社】  
 6/1 会報「わかしゃち」四十号発行  
 6/10 第十一回遷宮啓発委員会【5名／名古屋市内】  
 6/14 第十一回常任理事会【9名／六所神社】  
 6/23 定例会「神職に求められるHP活用研修会」【39名／豊橋市民センター】  
 6/24 尾張地区連絡会【21名／名古屋市内】  
 6/25 第十三回理事会【21名／真清田神社】  
 6/28 第十一回事業委員会【6名／知立神社】  
 7/4 第一回福祉教化委員会【13名／名古屋市内】  
 7/7 第一回常任理事会【9名／会館】  
 7/7 第一回理事会【32名／会館】  
 7/7 平成二十二年定例総会【52名／会館】  
 7/7 平成二十二年度懇親会【11名／会館】  
 7/15 第一回青少年教化委員会【7名／名古屋市内】  
 7/22 第一回ホームページ運営委員会【3名／知立神社】  
 7/22 第一回事業委員会【5名／知立神社】

7/28 名古屋地区役員会【11名／会館】  
 7/28 名古屋地区連絡会【19名／熱田神宮文化殿】  
 7/30 朝日舞・豊栄舞勉強会【17名／六所神社】  
 8/4 第一回事務局会【12名／名古屋市内】  
 8/7 定例会「あけぼの学園ボランティア活動」【15名】  
 8/9 第二回事業委員会【8名／知立神社】  
 8/11 第二回常任理事会【8名／愛知縣護國神社】  
 8/11 朝日舞・豊栄舞勉強会【23名／愛知縣護國神社】  
 8/20 三河地区連絡会【34名／豊橋市内】  
 8/26 ■県女子神職会  
 5/26 朝日舞勉強会【13名／六所神社】  
 5/26 第六回役員会【7名／六所神社】  
 6/10 研修旅行、総会準備等について協議。  
 6/10 研修旅行【15名】三重県鈴鹿市鎮座伊奈富神社正式参拝、椿大神社、江島若宮八幡神社、鎮國守國神社参拝。  
 6/23 臨時総会【16名／庁】  
 7/13 会報「をが玉」第二十三号発

行  
 7/20 第一回役員会【13名／庁】平成二十二年役員選出。  
 7/20 第十八回総会【19名／庁】平成二十二年役員選出。  
 神社庁日誌抄(6/1～8/31)  
 庁 神社庁、会館 熱田神宮会館  
 六月  
 6/1 月次祭斎行【庁】  
 6/1 神宮大麻増頒布施策検討特別委員会開催【庁】  
 6/7～6/8 神政連誼会議出席【神社本庁】  
 6/9～6/10 神宮評議員会出席【神宮・伊勢市】  
 6/11 伝達式【庁】  
 6/11 庁務会【庁】  
 6/13 氏子青年連合会総会開催【岩津天満宮】  
 6/14 天皇皇后両陛下下行幸啓沿道奉迎【名古屋市内】  
 6/15 教化常任委員会開催【庁】  
 6/16～6/17 神社本庁事務担当者会出向【神社本庁】  
 6/17 神政連役員会開催【庁】  
 6/18 第五十八回「郷土のお祭の絵」展打合せ会開催【庁】  
 6/22 第九十一回愛知県神社庁協議員会【会館】

七月  
 7/1 月次祭斎行  
 7/5～7/9 初任神職研修会開催【庁】  
 7/7 愛知県神道青年会総会開催【庁】  
 7/12～7/14 鹿屋海軍航空基地慰霊祭斎行【鹿児島県】  
 6/22 神宮大麻増頒布施策検討特別委員会開催【庁】  
 6/23～6/24 総代幹部研修会開催【伊勢市方面】  
 6/25 IT委員会開催【庁】  
 6/28 祭祀合同委員会開催【会館】  
 6/28 神政連役員会開催【庁】  
 6/28 神政連役員会・青年隊合同研修会開催【庁】  
 6/28 山谷えり子参議院議員決起大会【会館】



天皇皇后両陛下下行幸啓沿道奉迎 (6/14)

- 7/15 伝達式【庁】
- 7/15 庁務会【庁】
- 7/15 神宮大麻増頒布施策検討特別委員会開催【庁】
- 7/16 役員会開催【庁】
- 7/20 女子神職会開催【庁】
- 7/22 神社庁総会開催【会館】
- 7/22 教化常任委員・教化機動班合同会議開催【会館】
- 7/22 教化常任委員会開催【会館】
- 7/26～8/21 神職養成講習会（直階）開催【庁】
- 7/27 神政連役員会開催【庁】
- 八月
- 8/2 月次祭齋行【庁】
- 8/2 三河地区両支部長会出席【豊田市】
- 8/3 I-T委員会開催【庁】
- 8/6 敬神婦人連合会役員会開催【会館】
- 8/9～8/11 歌舞指導者養成講習会開催【会館】
- 8/12～8/13 祭式研修会開催【会館】
- 8/16 伝達式【会館】
- 8/16 庁務会【庁】
- 8/16 愛知県神社庁支部長並事務会計担当者会開催【愛知縣護國神社】
- 8/17 神宮大麻増頒布施策検討特別委員会開催【庁】

- 8/18 教化常任委員会開催【庁】
- 8/21 伊勢神宮崇敬会の集い出席【会館】
- 8/24～8/25 ぼくと私の神社ウオッチング開催【長野県】
- 8/24 全国敬神婦人会大会出席【北海道】
- 8/30 夏季教化研修会開催【会館】
- 神社庁関連諸行事予定（10/15以降）  
庁＝神社庁、会館＝熱田神宮会館
- 11/24 県神社関係者大会【岡崎市民文化会館】
- 12/18 「郷土のお祭の絵」展表彰式【熱田神宮文化殿】
- 5/12 東海五県神社庁連合総会【刈谷市】
- 月刊若木より  
 愛知県関連記事（7/1～9/1）  
 記載なし
- 神社新報より  
 愛知県関連記事（6/7～8/30）
- 6/7 本社本庁新役員 小申和夫副総長 三〇二六号
- 6/14 神道政治連盟新役員 愛知より 服部憲明総務会長三〇二七号

- 6/14 祭りを写真で後世に 三二〇 点の応募作 まつりの写真コンテスト表彰式 三〇二七号
- 6/21 天皇皇后両陛下下の岐阜・愛知行幸啓にあたり幣饌料伝達 三〇二八号
- 6/21 碧海支部、支部内九会場で総代研修会を開催 「神宮奉賛・神社の祭り」等について 三〇二八号
- 6/21 「元伊勢」の地を巡って四年目 神宮研修会にて三重県の諸社を巡る 三〇二八号
- 6/28 神宮史学会、熱田神宮で熱田神宮創祀一九〇〇年を記念する第五十六回大会を開催 三〇二九号
- 7/5 愛知六社が天皇・皇后両陛下の行幸啓に際し伝達された幣饌料を、恩賜維持資金に寄附・御礼の記帳 三〇三〇号
- 7/26 社殿など登録有形文化財に答申。愛知では、豊橋市・安久美神戸神明社 三〇三三三号
- 8/2 総代幹部研修会で伊雑宮の御田植祭を拝観百十三名参加 三〇三四号
- 8/2 神社新報社社長に 小申宮司再任 三〇三四号

- 切り抜き帳  
 一県内各紙より（6/1～8/31）  
中＝中日、朝＝朝日、毎＝毎日、東＝東日、読＝読売、日経＝日本経済、産＝産経、東愛＝東愛知、東日＝東海日日
- 6/2 子供まつり写生入賞者が決まる 一宮市・真清田神社（中）
- 6/6 熱田まつりの行事撮り競う 中日写協（中）
- 6/6 祈りの灯火夜風に揺れ 熱田祭り（中・読・毎）
- 6/6 からくり山車町内練り歩く 東区で天王祭開幕（中）
- 6/6 早乙女姿の児童豊作願ひ田植 え 幡豆・鳥羽神明社（中）
- 6/8 舟木さん歩いて発見 一宮市・服織神社（真清田神社）（朝）
- 6/9 40年前のさい銭盗告白 東区の大幸八幡社（中）
- 6/11 「足の神様」天忙し 日進の白山宮人気（読）
- 6/13 高倉祇園太鼓 初の奉納 起源の地・津島神社で（中）
- 6/14 名古屋の山車 復興願ひ記録 自主映画製作者ら、祭を取材 名古屋東照宮・若宮八幡社・那古野神社（朝）
- 6/14 足の神様「勝たせて」サポートに絵馬託す 日進・白山宮

宮 ば し ら

平成22年10月20日

- 6/19 (中・読) 雨喜ぶ小さな傘 一宮・御裳神社でアジサイ見ごろ(中)
- 6/21 新茶の恵みに感謝 砥鹿神社で新茶まつりと奉納煎茶会(中・東愛・東日)
- 6/24 丹精の花水面に涼 岡崎・伊賀八幡宮の蓮池(中)
- 6/25 住民の善意で手水舎を再建 豊橋の羽田上神社(東愛)
- 6/26 来月一六〜一八日西尾まつり「祇園祭」練り歩き江戸時代風に 伊文神社(中)
- 6/26 掘り出し物求め品定め 豊橋の羽田八幡宮で骨董市(東愛)
- 6/27 一一〇周年の節目「練り糸始め式」田原の神宮神御衣御料所で(東愛)
- 6/28 大茅の輪に息災祈る 県護国神社で「夏越の大祓」(中)
- 6/28 氷上舞うフィギュア選手招き 緑区・氷上姉子神社でイベント(中)
- 6/28 花がさ姿 早乙女あでやか、稲沢・国府宮で「御田植祭」(中・朝)
- 6/28 雅楽の調べ再び 茅の輪くぐりに合わせ初披露 蒲郡・八剣神社(東愛)
- 6/29 三谷祭の雅楽復活へ 蒲郡・八剣神社の氏子(東愛)
- 7/1 「梵天車」十四年ぶり登場 大須・富士浅間神社の傘鉾(中)
- 7/1 健康祈願に夏越の大祓 砥鹿神社・牟呂八幡社(東愛)
- 7/1 茅の輪くぐって無病息災 豊橋・牟呂八幡社(東日)
- 7/4 白鵬関「注目」土俵入り 熱田神宮に二五〇〇人「がんばれ」の声(中・朝・毎・読・日経)
- 7/4 豊川の大谷さんら夫婦四組 砥鹿神社に「背丈石」奉納 全国一宮一〇八社参拝を記念(中・東愛)
- 7/5 岡崎藩の伝統 五穀豊穣祈る「御田扇祭」素盞鳴神社・占部天神社(中)
- 7/5 厳かに模擬神前式 巴江神社(東愛)
- 7/5 穢れはらう茅の輪くぐり 新城の富永神社で祇園祭(東日)
- 7/7 「出世稲荷」として売り出す 修復を機に吉田神社(東愛)
- 7/8 商店街短冊揺れる 豊田・きょう拳母神社奉納(中)
- 7/11 火花散らし玉鋼を鍛錬 熱田神宮「刀剣の奉納」始まる(中)
- 7/11 目指すは三重の「伊勢神宮」 「ええじゃないか豊橋行脚隊」が 出発 牟呂八幡社では「お札降らし」も(東愛・東日)
- 7/14 一宮空襲の悲劇忘れない 真清田神社の神輿庫 ご神木が守った(中)
- 7/14 山車神輿練り出しにぎやかに 東頭神社で奉祝大祭 豊橋(東日)
- 7/15 「津島天王祭 来て」ポスター お披露目(中)
- 7/17 開府四〇〇年なごや古今往来 緑区・有松天満社(中)
- 7/17 飲酒運転ゼロへ みこさんら 訴え 国府宮前(中)
- 7/17 豊橋祇園祭 勇壮な手筒で開幕 吉田神社(中・毎・東日)
- 7/17 鬼祭りの「安久美神戸神明社」 国登録有形文化財に 工法や設計が一級品(中・毎・東愛・東日)
- 7/17 電飾タイがまつりPR 南知多町豊浜地区(中)
- 7/18 盛夏の訪れ告げる大輪 一万二千発夜空彩る 豊橋祇園祭で 花火 吉田神社(中・東愛)
- 7/19 闇を焦がす綱渡りの炎 豊川進雄神社で綱火(中・東愛)
- 7/19 本殿修復、厳かに遷座祭 豊橋の大崎八幡社(東愛)
- 7/19 馬上姿りりしく 豊橋祇園祭 最終日 子どもたちの頼朝行列 吉田神社(東愛)
- 7/19 花まつり、豊橋の拠点に新しく社務所・参集殿 御幸神社で完成祝う(東日)
- 7/21 歯痛治癒伝説の箸蔵社建て替え 西尾の白山神社(中)
- 7/21 伊富利部神社で和太鼓など演奏(中)
- 7/22 「豊浜鯛まつり」大鯛振り子電飾点灯 南知多町・中洲神社(中)
- 7/23 大暑 ゆつたり緑の陰 熱田神宮(毎)
- 7/23 王朝絵巻をライブ中継 あすから津島・天王祭 まつりの館HPで公開(中)
- 7/24 たい漁祈願 いせいよくザブン 南知多町「豊浜鯛まつり」 中洲神社(中・朝・毎)
- 7/25 七夕まつり 時代衣装で二〇〇人行列 市長・神社に反物奉納 一宮市・真清田神社(中)
- 7/25 まきわら船水面そりり 津島天王祭 津島神社(中・朝・毎)
- 7/26 絢爛 車楽船が登場、尾張津島天王祭の朝祭(中)
- 7/27 ひんやり木陰の教室 熱田神宮で自然や伝統学ぶ(中)
- 8/1 闇夜に舞う大万燈 刈谷二三〇年の伝統 祭り開幕 刈谷市・秋葉社(中・毎)
- 8/1 茅の輪くぐって無病息災 豊橋の羽田上神社で輪潜祭(東愛)
- 8/2 真清田神社の歴史とらえた写真

- 真二二四点(中)
- 8/2 山車の舞台でかわいい舞半田・亀崎地区夏祭り 子供が奉納 神前神社(中)
- 8/5 石刀祭と白台祭無形民俗文化財に 一宮市・今伊勢町石刀神社(毎)
- 8/5 都会の真ん中で林間学校 熱田神宮(朝)
- 8/6 真清田神社写真展(中)
- 8/6 入賞者決まる 大縣神社献書展(中)
- 8/12 巣箱ですくすくアオバズク 豊川 下加茂神社で確認(中)
- 8/14 開府四〇〇年なごや古今往来 みんなで守る都会の森 城山八幡宮(中)
- 8/15 終戦の日を迎えて 中区・愛知県護国神社(中)
- 8/15 木曾川河畔に涼響く 一宮で起六斎ばやし(中)
- 8/16 県護国神社で「献水祭」(中)
- 8/16 貴重な能面じっくり鑑賞 安熊野神社(東愛)
- 8/16 子ども浦島が沖へ 海の安全と大漁を祈願 田原で豊漁まつり(中)
- 8/16 男衆下帯姿で疾走 たいまつ担ぎ「オイッサー」 豊田の小渡天王祭(中)
- 8/16 「花祭り」の祭文集発刊 原文
- 掲載し意味紹介(中)
- 8/17 平和願う五〇〇〇の燈籠 護国神社に三〇〇〇人(中)
- 8/17 エサ求め一宮の神社に「移住」招かザル母子に困惑 木曾川・白山神社(中)
- 8/20 寺社巡れば活力注入 津島市「パワースポット」 津島神社(中)
- 8/23 刀研ぎ熟達の技 熱田神宮(中)
- 8/23 手筒火花作った!あげた!豊橋吉田神社、記者が挑戦(朝)
- 8/23 今年の本番 大筒台を新調 豊橋羽田八幡宮大祭で手筒奉納(東愛)
- 8/23 砥鹿神社奥宮で演武 戸山流居合道東海道場が奉納(東愛)
- 8/24 開府四〇〇年なごや古今往来 秀吉にあやかり願ひ事 豊国神社(中)
- 8/24 一剣に気合い乗せ心技修養祈願 戸山流居合道東海道場 砥鹿神社で奉納演武(東日)
- 8/25 くつわ踊りを再び 少子化で途絶えた津島の芸能 子ども確保へ説明会(中)
- 8/26 恋の水神社 いい恋を願ひ熱く 愛知県美浜町(中)
- 8/27 猛暑押しぬける でんと巨大提灯 一色町・諏訪神社(中・朝)

- 8/28 開府四〇〇年なごや古今往来 住民の熱意街支える 公園と大鳥居 豊国神社(中)
- 8/28 弥富に太鼓や鉦響け きょうドンチキチン祭り(中)
- 8/29 大提灯まつり魅力説明 観光地に地元児童手作りうちわくばり 一色・諏訪神社(中)
- 8/29 夜空高く火柱熱演 豊川手筒まつり(中)
- 8/30 展示とライブで農村舞台アクト 豊田市・磯崎神社(朝・読)
- 8/31 太鼓打ち「雨乞傘踊り」刈谷・野田八幡宮(毎)

支部だより (5/21 ~ 8/20)

庁 神社庁、会館 熱田神宮会館

名古屋地区

名古屋第一支部

- 7/6 役員・会計監査会(7名/片山八幡神社) 平成二十一年度会計監査、平成二十二年会計予算案審議等。
- 7/27 第五十一回支部総会(21名/中区「葛茂」) 平成二十一年度事業概要経過報告、同歳入歳出・特別会計決算報告・監査報告、平成二十二年度歳入歳出予算案審議、各種報告連絡事項伝達、遷宮奉賛金納付状況報告。総会終了後、懇親会。

名古屋第二支部

- 7/26 支部役員会(5名/素盞男神社) 支部研修旅行、平成二十一年度決算、平成二十二年総会、その他連絡事項等について協議。

名古屋中支部

- 7/6 支部役員会(9名/愛知縣護国神社) 平成二十一年度決算監査会、平成二十一年度決算、平成二十二年予算、総会等について協議。
- 8/6 ~ 8/8 第四十四回雅楽講習会

【130名/若宮八幡社】正式参拝の後、神宮雅楽講師を迎え、雅楽・舞の講習会。



名古屋中支部雅楽講習会 (8/6 ~ 8/8)

名古屋瑞陵支部

6/25 支部総会【12名／津賀田神社】決算報告並びに平成二十二年度予算について協議。

尾張地区

尾張地区関連行事  
7/19 知多四支部総会

一宮支部

6/14 支部物故神職慰霊祭【25名／真清田神社】山田邦彦支部員が斎主、支部員四名にて奉仕。



一宮支部物故神職慰霊祭 (6/14)

6/14 支部定例会【20名／真清田神社】神政連愛知県本部推薦候補者決起大会、神社庁総会、支部役員会、総代会一宮支部役員会、支部総会、支部神宮大麻暦頒布

始奉告祭、鹿屋海軍航空基地慰霊祭の庭積神饌、ぼくと私の神社ウオッチング、夏季教化研修会、衣紋研修会、イセヒカリ粉種譲与、事務所備付書類提出、天皇皇后両陛下行幸啓沿道奉迎、今後の予定等々について協議。

7/8 支部役員会【9名／真清田神社】平成二十一年度支部一般会計・別途会計監査。平成二十二年年度支部一般会計予算案・事業計画案、その他支部夏季研修会等について協議。

7/19 第十一回サマーフェスティバル【伊富利部神社】一宮市の和太鼓グループ「由喜太鼓」、ソプラノ・ピアノ・フルートの演奏九曲を披露。



伊富利部神社鎮守の杜サマーフェスティバル (7/19)

7/26 総代会一宮支部役員会【21名／真清田神社】平成二十一年度決算・事業報告、平成二十二年年度予算案・事業計画案、支部神宮大麻暦頒布始奉告祭、遷宮奉賛会一宮支部募財状況等について協議。

7/28 支部総会【23名／真清田神社】平成二十一年度支部一般会計・別途会計決算、平成二十二年年度支部一般会計予算案・事業計画案、伊勢神宮崇敬会の集い、神宮大麻暦頒布始奉告祭、神政連愛知県本部総会、尾張地区神職懇話会、秋季例祭献幣使参向確認、神社の活動とインターネット活用留意事項、秋の敬神功労章、「神宮大麻頒布優良神社」県表彰、県神社関係者大会、尾張地区神社関係者大会、総代会一宮支部役員、今後の予定等について協議。

7/1 定例会【11名／業葉神社】天皇皇后両陛下行幸啓沿道奉迎、神政連愛知県本部総決起大会、知多四支部神職総会・祭式研修会、夏季教化研修会、衣紋研修会、神社庁総会、鹿屋海軍航空基地慰霊祭、神宮大麻頒布活動についての協議会・神宮大麻頒布始奉告祭(神宮)、第六十二回神宮式年遷宮奉賛金、支部監査、

半田支部

6/9 支部総代会研修【25名】神宮参拝、神宮徴古館・農業館・美術館、斎宮歴史博物館見学。神麻織機殿神社、神服織機殿神社参拝。  
6/10 定例会【12名／乙川八幡社】支部総代会研修会、イセヒカリ粉種の譲与、ぼくと私の神社ウ



総代会半田支部研修 (6/9)

7/1 定例会【11名／業葉神社】天皇皇后両陛下行幸啓沿道奉迎、神政連愛知県本部総決起大会、知多四支部神職総会・祭式研修会、夏季教化研修会、衣紋研修会、神社庁総会、鹿屋海軍航空基地慰霊祭、神宮大麻頒布活動についての協議会・神宮大麻頒布始奉告祭(神宮)、第六十二回神宮式年遷宮奉賛金、支部監査、

半田支部総会、愛知県神社関係者名簿加筆・訂正、神宮大麻頒布優良神社表彰等について協議。

<sup>7/13</sup> 神職総代研修会【15名】熊本県山鹿市大宮神社参拝、山鹿灯笼民芸館見学・山鹿市内散策、同県菊池市菊池神社参拝。

<sup>7/7</sup> 臨時支部会並総会準備会【12名/武豊町・東大高公民館】知多四支部会、支部長並支部事務担当者会、愛知県神社庁新庁舎建設記念誌、平成二十二年度神社負担金・支部負担金、平成二十二年度総代会会費・活動協賛金、伊勢神宮崇敬会の集い、支部総会等について協議。

<sup>7/28</sup> 支部総会並総代研修会【95名



半田支部総代研修会 (7/28)

／武豊町・東大高公民館】神社庁より川崎録事、武豊町副町長の列席のもと、開催した。六十七名に支部功労者表彰、平成二十一年度事業概要報告、平成二十一年度事業計画案、平成二十一年度決算報告、二十一年度予算案審議。総代研修会は『氏子総代の心得』の冊子を配布、手水の作法、祭具の種類・取扱い、玉串拝礼、神饌等について研修。

<sup>5/28</sup> 支部役員会及例会【17名/白山神社】支部規則改正、叙勲受章者祝賀会等について協議。

春日部支部

<sup>5/31</sup> 支部三役打合せ【3名/「ホテルプラザ勝川」】叙勲祝賀会



総代会春日部支部長長繩代蔵氏叙勲祝賀会 (7/6)

開催打合せ。

<sup>7/6</sup> 叙勲受章祝賀会【27名/「ホテルプラザ勝川」】支部総代会並神職会にて、総代会支部長叙勲受章者祝賀会開催。

<sup>7/9</sup> 支部役員会【6名/白山神社】支部総代会提出議案書の協議会及び会計監査。

<sup>7/16</sup> 総代会春日部支部会計監査【5名/白山神社】総代会春日部支部会計監査。

<sup>7/26</sup> 支部総会資料作成【5名/田縣神社】支部総会提出議案書作成。

<sup>7/27</sup> 支部総会【24名/白山神社】  
<sup>8/9</sup> 総代会春日部支部総会【32名/白山神社】

西春日井支部

<sup>5/22</sup> 支部定例会【9名/日吉神社社務所】宗教法人事務所備付書類、平成二十二年度支部研修旅行、東海五県神社庁連合総会参加報告等について報告・確認。

平成二十二年度支部総会、平成二十二年度総代会西春日井支部総会、総代会支部研修旅行等について協議。

<sup>6/19</sup> 支部定例会【8名/日吉神社社務所】天皇皇后両陛下下行幸啓沿道奉迎、県神社庁総会、総代

会支部研修旅行、神政連愛知県本部推薦候補者の決起大会、鹿屋海軍航空基地慰霊祭、夏季教化研修会等について協議。

<sup>8/7</sup> 総代会西春日井支部役員総会【12名/日吉神社社務所】平成二十一年度総代会西春日井支部活動報告・同歳入歳出決算報告、平成二十二年度総代会西春日井支部支部活動予定、同歳入歳出予算、総代会西春日井支部研修旅行等について協議。

<sup>8/8</sup> 支部総会【16名/名古屋市「えん」】平成二十一年度支部活動報告、歳入歳出決算、平成二十二年度支部活動予定、平成二十二年度歳入歳出予算等について協議。

尾北支部

<sup>5/22</sup> 大口町神社総代会【40名】長浜八幡宮参拝の後、総会。

<sup>5/26</sup> 扶桑町神社総代会総会【20名/楮埜神社】

<sup>6/9</sup> 総代会尾北支部総会【156名/大縣神社】平成二十一年度事業報告・決算報告、平成二十一年度事業計画・予算審議。後、神饌・総代作法等について研修。

<sup>6/9</sup> 支部会【18名/大縣神社】尾

北支部総会、支部慰霊祭等について協議、行事予定等について連絡。

7/9 支部総会【22名／犬山市「臨江館」】平成二十一年度事業・決算報告、平成二十二年事業計画・予算審議、今後の予定等について協議。終了後、直会。

中島支部

6/23 支部会【22名／尾張大國霊神社】新支部員紹介、平成二十年度決算案及二十二年度予算案、神職及び総代研修旅行等協議。

8/9 支部会計監査会【7名／尾張大國霊神社】平成二十年度会計監査。



総代会中島支部役員会 (8/9)

8/9 総代会中島支部役員会【40名／尾張大國霊神社】平成二十年

度会計決算報告、平成二十二年

度予算審議、平成二十二年事業報告、平成二十二年事業計画、神職及び総代研修旅行等協議。8/9 支部会【23名／尾張大國霊神社】尾張地区神職懇親会、神職及び総代研修旅行、新嘗祭白酒、秋季例祭献幣使参向願、神宮大麻曆頒布始奉告祭、県神社関係者大会等について協議。

海部支部

6/10 総代会海部支部役員会【19名／津島神社】平成二十一年決算、平成二十二年度予算、役員改選、伊勢参宮等について協議。

6/10 支部会【17名／津島神社】天皇皇后両陛下下行幸啓奉迎、神政連愛知県本部推薦候補者決起大会、神社庁総会、夏季教化研修会、衣紋研修会、伊勢参宮等について協議。

知北支部

7/8 監事会【6名／知多市・神明社】平成二十一年度監査。

7/8 神職会議【12名／知多市・神明社】支部役員会・総会、知多四支部連合神職会、今後の行事・研修会等について協議。7/28 役員・神職合同会議【25名／

東海市・熊野神社】神宮大麻曆頒布終了奉告祭、平成二十一年度事業報告・歳入歳出決算、平成二十二年歳入歳出予算、定期総会開催等について協議。

7/28 神宮式年遷宮奉賛会知北支部常任委員会【25名／東海市・熊野神社】平成二十一年度事業報告・決算、平成二十二年事業計画・予算等について協議。

7/28 神職会議【13名／東海市・熊野神社】連絡・通知事項等。8/18 支部総会【60名／大府市・熱田神社】平成二十一年度事業報告・決算、平成二十二年事業計画・予算等について協議。



知北支部総会 (8/18)

8/18 神宮式年遷宮奉賛会知北支部推進委員会【60名／大府市・熱

田神社】平成二十一年度事業報告・決算、平成二十二年事業計画・予算等について協議。8/18 神職会議【14名／大府市・熱田神社】負担金等の集金、今後の予定等について協議。

南知多支部

6/19 支部氏子総代表者会【28名／「かねだい」】平成二十一年度事業報告・会計報告、平成二十二年度氏子総代会総会、伊勢神宮遷宮奉賛金等について協議。

三河地区

6/16 岡崎医療刑務所慰霊祭



岡崎支部物故者慰霊祭 (6/16)

<sup>6/21</sup> 豊橋刑務所大祓式

**岡崎支部**

<sup>6/22</sup> 支部例会・六月月次祭・物故者慰霊祭【23名／戸崎神明宮】  
鹿屋海軍航空基地慰霊祭、支部神職楽人合同研修会、支部神宮大麻頒布始祭、総代研修会等について協議。

<sup>7/30</sup> 支部例会【20名／龍城神社】  
支部神宮大麻暦頒布始奉告祭並びに表彰式、総代研修会、式年遷宮奉賛目標達成奉告参拝等について協議。

**碧海支部**

5月下旬～6月上旬地区総代研修会【各地区毎約50名】支部内二百三十四社を九地区九会場に



碧海支部地区総代研修会

分け、氏子総代・神社役員に対し神職主導のもと神社運営等に関する支部恒例の研修会を開催。

<sup>6/29</sup> 支部例会【45名／安城神社】  
東海五県神社庁連合総会大会及び支部親睦旅行会計報告、地区総代研修会の反省、支部参宮団班編成と実施日協議、その他神社庁主催行事を始めとする連絡事項報告。

<sup>6/29</sup> 臨時代議員会【53名／安城神社】平成二十一年度支部事業報告、通常会計及び特別会計歳入歳出決算報告、一般庁務に関する事項等について協議。

<sup>6/29</sup> 第六十二回神宮式年遷宮奉賛会愛知県本部碧海支部第五回常任委員会【53名／安城神社】平成二十一年度末中間決算報告、常任委員・委員の追加委嘱報告。今後の募財活動協議。

<sup>7/27</sup> 支部例会【41名／安城神社】  
鹿屋海軍航空基地慰霊祭会計報告、敬神功労章・神社庁神宮大麻頒布優良神社表彰、支部神宮大麻暦頒布始祭並びに研修会、支部当番による西三大会夫々協議。その他連絡事項報告。

<sup>7/27</sup> 研修会【41名／安城神社】デザイン・商業書道作家鈴木愛先



碧海支部研修会 (7/27)

生を講師に迎え、神職の基本的素養である書道を、デザイン書道という柔軟な発想から新たな使い方を学ぶ研修会。終了後、講師を交え懇親会。

**額田支部**

<sup>6/7</sup> 支部祭式研修会【17名／岩津天満宮】神社庁祭式講師河村健司氏を迎えての開催。午前中は基本動作、午後は遷座祭と衣紋について研修。

<sup>6/10</sup> 支部役員会【13名／岩津天満宮】支部総会、参院選神政連愛知県本部推薦候補者決起大会等協議。

<sup>6/10</sup> 支部定例会【37名／岩津天満宮】諸般の報告、夏期各種講習



額田支部祭式研修会 (6/7)

<sup>6/16</sup> 支部役員会等伝達。参院選神政連愛知県本部推薦候補者決起大会協議。

<sup>6/17</sup> 額田町分区連合会研修旅行【88名】大神神社を正式参拝。



額田町分区連合会研修旅行 (6/16～6/17)

春日大社を参拝、平城遷都一三〇〇年祭会場を視察研修。南紀・白浜温泉にて宿泊。

<sup>7/16</sup> 支部役員会【14名／岡崎市「八丁魚光」】支部年次総会を控え、総会議事、事業報告・決算、事業計画・予算審議。併せ会計監査を実施。

<sup>7/4</sup> 支部年次総会【38名／岩津天満宮】平成二十一年度事業報告及び決算、平成二十二年事業計画案・予算案協議、承認。諸案件協議。

**西尾幡豆支部**

<sup>6/4</sup> 支部例会【18名／伊文神社】神社関係各種報告事項の伝達。各種研修会、神社庁総会、支部浦安の舞講習会、鹿屋海軍航空基地慰霊祭、参議院議員決起大会等について協議。

<sup>7/5</sup> 支部例会【17名／伊文神社】神社関係各種報告事項の伝達。鹿屋海軍航空基地慰霊祭、支部浦安の舞講習会、支部祭式研修会、支部代議員（献幣使）祭式講習会、参議院議員選挙等について協議。

<sup>8/6</sup> 支部例会【17名／伊文神社】神社関係各種報告事項の伝達。支部浦安の舞講習会、支部祭式

研修会、支部代議員（献幣使）祭式講習会、伊勢神宮崇敬会の集い、神政連愛知県本部設立四十周年記念総会等について協議。

**豊田支部**

<sup>7/7</sup> 支部三役会【5名／挙母神社】平成二十一年度会計決算、同二十二年予算等について協議。

<sup>7/20</sup> 支部監査会【8名／挙母神社】平成二十一年度決算監査。

<sup>7/30</sup> 支部総会【32名／挙母神社】平成二十一年度事業報告・会計決算報告、平成二十二年事業計画・予算審議等。

**東加茂支部**

<sup>5/21</sup> 足助八幡宮工事始奉告祭【20名／足助八幡宮】国指定重要文化財である御本殿の防災施設工事の奉告祭斎行。

<sup>5/23</sup> 支部下山分会総会・研修会【32名／下山「憩いの家」】定例総会及び参拝・玉串拝礼・神饌伝供作法等についての研修会開催。

<sup>6/6</sup> 支部足助分会総会・研修会【63名／足助町「一の谷」】定例総会及び総代奉仕の心得につ

**社頭に**

**不届き者の正体**

古知野神社 禰宜 山邊 敬枝  
当社例祭は、四月中旬に斎行される。例祭が近づいてくると、神職のみならず氏子総代総出で祭りの準備に大わらわになる。

例祭の週間ほど前のことである。一人の総代さんが、境内の鳥居や神木に付けたはずの紙垂がところどころ無くなっている、と申し出た。春先はとかく風の強い日が多い。付け方が弱く風で飛んでしまったのではないかと聞いてみたところ、ここ二、三日の間に同じ場所から繰り返し無くなるのだという。

なんという不届きな所業か。さては近所の子供たちが、遊びついでに持って行ってしまふのだろうか。確かに境内には、子供の目には魅力的なもので溢れている。町の辻々には祭りを知らせるポスターが貼られ、神社の入り口には幟が立ち、否が応にも祭り気分が浮き足立つ。そんな中での子供の悪戯だと思っていた。

それから三ヶ月ほどが過ぎたある日、突如として、紙垂を持っていった「不届き者」の正体が明らかになった。

月次祭が終わる、定例の氏子総代会が休憩に入った時であった。何とはなく会議室横の坪庭に目をやると、ひょろりと伸びた木の枝に鳥の巣が掛けられているのが見えた。さすがにもうこの時期、卵やヒナなど居るはずはないと思いつつも、物珍しさから近づいて見てみると、主の居なくなった荒れた巣に、砂埃でぼろぼろになった紙垂が数枚ぶら下がっている。

「なるほど」と合点がいった。と同時に、胸をきゅっと締め付けられるような愛しさがこみ上げてきた。この巣で卵を生みヒナを育てた母鳥は、どんな思いでこの紙垂をくわえてきたのだろうか。まるで人が安産祈願や初宮詣をするように、この母鳥も小さな命の無事なる成長を祈り、ご神徳の印として、少しずつ拝借してはせつせと運んできたのかも知れない。もしそうであったとしたら、なんと面白いし事か。

往々にして人は、理由の分からぬ現象や自分の理解を超え他者の行動について、根拠も無く否定的な想像を巡らす。乏しい想像力の範囲内で、無言で他者を貶めている。



この度の一件にかかわる自身の思考はまさにその最たるもので、多くの人を広く受け入れるべき神社という空間に神職として身を置きながら、心はひどく排他的で猜疑的であった。なんとという不届きなことか。再び、「なるほど」と合点がいった。ほんとうの「不届き者」の正体は、己であったか。  
(編集委員)



豊橋支部物故神職慰霊祭 (7/28)

6/16 支部稲武分会総会【18名／稲武・八幡神社】  
6/21 神職会【13名／足助八幡宮】  
支部諸般報告、神社庁通達事項についての協議。

8/7 支部旭分会総会・研修会【68名／上切町・白山神社】定例総会及び総代奉仕の心得についての研修会開催。

8/19 支部合同会計監査会【7名／足助八幡宮】支部並びに総代会東加茂支部の会計監査。

豊橋支部

6/9 支部月例会【27名／羽田八幡宮】鹿屋海軍航空基地慰霊祭等について協議。

6/21 支部新旧役員慰労会【20名／「武蔵園」】支部神職会及び総代会の新旧役員が参加。

7/8 支部監査会【8名／羽田八幡宮】平成二十一年度会計監査。

7/8 支部役員会【18名／羽田八幡宮】

7/28 支部物故神職慰霊祭並総会【60名／羽田八幡宮】平成二十一年度決算・行事報告並びに二十二年度予算案・行事予定等協議。  
8/4 支部月例会【27名／羽田八幡宮】

豊川支部

5/29 支部神職会【15名／豊川進雄神社】支部総代研修会、代議員会及び理事会（決算予算審議）、夏の神社研修旅行、総代会豊川支部の役員選出等について協議。

6/12 支部総代研修会【80名／諏訪神社】支部神職を講師に神明奉仕の心得、祭典準備のための基本、祭典奉仕の作法について研修。

6/23 支部夏の神社研修旅行【45名】笠間稲荷神社及び陸奥国一宮石都々古和氣神社を参拝し、母畑温泉（福島県）等に宿泊。

7/5 支部代議員会及総代会支部理事會【30名／「豊川市民プラザ」】平成二十一年度事業報告、決算及び平成二十二年度予算、平成二十一年度の神宮大麻頒布実績報告、平成二十三年初詣旅行について協議した。

8/9 支部神職会【13名／豊川進雄神社】東三河神社関係者大会、伊勢神宮崇敬会の集い等について協議。

6/10 支部神職会研修旅行【5名】広島東照宮、厳島神社参拝、呉海軍基地見学等。

新城支部

6/15 支部役員会【10名／富永神社】支部総会等について協議。

7/6 監査会【4名／富永神社】平成二十一年度会計監査。

7/29 総代会新城支部総会【40名／富永神社】平成二十一年度決算報告、平成二十二年度予算案等協議。

7/29 神職会総会【12名／「ほほえみ」】会計報告並びに事業報告。

宝飯支部

6/16 支部総会【31名／砥鹿神社】総代会役員改選、平成二十二年度予算及び事業計画について審議。

7/28 支部決算会【26名／砥鹿神社】

7/28 支部総会【12名／華山会館】平成二十一年度事業報告・決算報告、平成二十二年度予算審議、今後の予定等協議。

田原支部

8/7 総代会田原支部総会【95名／「渥美青年の家」】県会議員、市議会議長、市議会議員等を来賓として開催。役員選任、事業報告・決算報告、事業予定・予算等について協議。

蒲郡支部

5/26 支部総代会研修旅行【長野県・群馬県方面】諏訪大社正式参拝、穂高神社、貫前神社参拝。

6/16 支部代議員会【八百富神社】平成二十二年度予算審議。

7/21 支部例会【10名／三谷町・八劍神社】

7/28 監査会【6名／蒲郡市「美波」】平成二十一年度会計監査。

8/10 支部例会【12名／蒲郡市「美波」】東三河神社関係者大会。神社庁よりの通達事項等について協議。

### 神社庁よりの通知(抄) (六・一〇八・三十二)

- 神政連愛知県本部推薦候補者の決起大会について  
愛神二一五号・平成二十二年六月一日付  
神政連愛知県本部長発・神政連代議員宛
- 教化研修会・神社ウオッチング募集依頼の件  
平成二十二年六月八日付  
愛知県神社庁長発・支部長宛
- 平成二十二年年度 衣紋研修会開催の件  
平成二十二年六月八日付  
愛知県神社庁長発・支部長宛
- 選挙ポスター掲示のお願い  
愛神二一五の三・平成二十二年六月二十四日付  
神政連愛知県本部長発・神政連代議員宛
- 「愛知県神社庁新庁舎建設記念誌」送付の件  
平成二十二年六月二十五日付  
愛知県神社庁長発・支部長宛
- 「愛知県神社関係者名簿」の加筆・訂正について(依頼)  
愛神一号・平成二十二年七月一日付  
愛知県神社庁長発・神社庁支部長宛
- 「神宮大麻頒布優良神社表彰規定」による表彰候補神社推薦の件  
愛神四八四号・平成二十二年七月四日付  
愛知県神社庁長発・愛知県神社庁支部長宛
- 支部長並びに事務・会計担当者会開催の件  
平成二十二年七月六日付  
愛知県神社庁長発・支部長宛
- 平成二十二年度神社並支部員負担金納入依頼の件  
愛神四号・平成二十二年七月六日付  
愛知県神社庁長発・支部長宛
- 敬神功労章の内申について  
愛神第五号・平成二十二年七月七日付  
愛知県神社庁長発・支部長宛
- 平成二十二年度愛知県神社総代会会費納入依頼の件  
愛神九号・平成二十二年七月十六日付  
愛知県神社総代会会長発・神社庁各支部長宛
- 平成二十二年度愛知県神社総代会活動協賛金依頼の件  
愛神十一号・平成二十二年七月十六日付  
愛知県神社総代会会長発・神社庁各支部長宛
- 伊勢神宮崇敬会の集い(東海支部)参加方依頼の件  
愛神十三号・平成二十二年七月二十日付  
愛知県神社庁長発・神社庁支部長並総代会支部長宛
- 「愛知県神社庁新庁舎建設記念誌」誤植のお詫び並びに訂正方依頼の件  
愛神十二号・平成二十二年七月二十日付  
愛知県神社庁長発・支部長宛
- 神社の活動とインターネット活用の留意事項について(通知)  
愛神十七号・平成二十二年七月二十七日付  
愛知県神社庁長発・神社庁支部長宛
- 平成二十二年度神職負担金納入依頼の件  
愛神二十一号・平成二十二年八月三日付  
愛知県神社庁長発・神社庁各支部長宛
- 教育勸語語渙発百二十周年記念祭祝詞例文について(伝達)  
愛神二十四号・平成二十二年八月十日付  
愛知県神社庁長発・神社庁各支部長宛
- 神政連愛知県本部結成四十周年記念総会開催の件  
愛神三十八号・平成二十二年八月十三日付  
神政連愛知県本部会長発・神社庁支部長宛

### 女子神職会会長に就任して

愛知県女子神職会会長  
大竹いつき

この度皆様のご推挙により第九代会長に就任致しました。未熟ながらも役員一同心を一つにして務めさせていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。さて結成十七年の今年会員数は一二八名となり近年の増加傾向は著しいものがあります。もはや女性神職は、男性の補助的役割ではなく男性と同様宮司となりお社をお守りする方が増えています。そこでより一層のご理解を神職、総代さん方にお願ひすると共に、女性神職の側も甘んずることなくご奉仕に専念しなければなりません。男性を押しつけていくのではなく女性らしさも損なわず、特性をいかしたご奉仕、教化活動のあり方、社会貢献などを考え、行動することも女子神職会の今後の課題です。とにかくは出来るだけ多くの会員が行事に参加し、交流を深めることを目標にしています。会員のご主人様方、上司宮司様方、何卒奥様、職員様方が当会行事に参加できるようお勧めください。

任命等

(平成二十二年六月一日) (平成二十二年八月三十一日)

〔任命〕

天神 社 宮司 小出 治男  
豊國 社 権禰宜 松原 一将  
(六・一付)

須佐之男 社 禰宜 加藤 芳隆  
三輪 社 宮司 平尾 晴美  
田縣 社 権禰宜 西塚 仁詞  
(七・一付)

白山 社 権禰宜 伊藤 公介  
(七・十五付)

津島 社 宮司 二村由美子  
大草 社 権禰宜 須賀 博之  
猿田彦三河 社 権禰宜 柴田 正之  
(八・十五付)

須佐之男 社 権禰宜 山本 孝  
(六・十五付)

不乗森 社 禰宜 稲葉 茂夫  
(六・二十付)

針綱 社 権禰宜 森 茂  
(七・三付)

勝瀨 社 禰宜 金山 貫  
(七・二十付)

八幡 社 宮司 稲岡 佳郎  
(七・三十一付)

神 明 社 宮司 平尾 建  
(七・一付)

〔本務替〕

神 明 社 宮司 平尾 建  
(七・一付)

石座 社 宮司 原 幹人  
(八・十五付)

〔神職帰幽〕

若宮 八幡 社 禰宜 宮下 隆生氏  
(七・十一)

〔名譽宮司〕

砥鹿 社 名譽宮司 二橋 一彦  
(六・一付)

津島 社 名譽宮司 和出 泰夫  
(七・五付)

〔神職身分〕

二級上  
若宮 八幡 社 禰宜 宮下 隆生  
(七・十付)

お詫びと訂正

宮柱二二三号に誤りがありました。お詫びいたしますと共に次の通り訂正いたします。

19ページ2段目

(誤) 瀧神社 権禰宜 橋本弘久  
(正) 瀧神社 禰宜 橋本弘久

編集後記

亜熱帯と見紛うまでの暑さも漸く忘れつつある頃、宮柱二百二十四号をお届けします。

本号の記事でも触れていますが、去る七月鹿児島県鹿屋市で海軍航空基地慰霊祭が行われました。編集部も慰霊祭の記録誌を作成するために特攻作戦については縷々記録を当たり、数多くの特攻作戦において、敵戦闘機部隊と戦い特攻機の進路を開くために、それに倍する我が戦闘機部隊が護衛に飛び立っていたことを改めて知りました。

確かに二百五十キの爆弾を抱えた特攻機のみで敵機と戦いながら敵艦に特攻するということが不可能であることは想像できることなのですが、今に至るまで気が付かぬことでした。特攻隊員が自分たちの命を掛け得たのは、国が、彼らが命を掛けるに値するよう出来る限り様々な力を尽くして彼らを送り出したからではないかと思えました。

見えないものの中に数多くの真実があり、それはかつて後世に伝えるべきことであり、それが国のエイトス(魂)になって行くとしたら、私たちは見えぬものを見ようとする努力を惜しんではならないのだと感じています。(一)

表紙写真説明  
はくと私の神社ウオッチングにて、第六十一回御神木伐採跡を見つめる子供たち。

愛知県神社庁庁報「宮柱」第二二四号

平成二十二年十月二十日発行

編集 教化常任委員会弘報部

発行所 愛知県神社庁

名古屋市中区神宮一丁目一

電話 (〇五二) 六八二一八〇四一

http://aichi-jincho.or.jp/

印刷 西濃印刷株式会社

# 鹿屋海軍航空基地慰霊祭の旅

愛知県神社庁は、毎年国内外の戦地を訪ねて慰霊祭を斎行し、戦没者を慰霊し同時に世界の平和を祈る旅を実施している。本年も「鹿屋海軍航空基地慰霊祭の旅」として小串庁長を始め県内より二百七十八名の参加を得て取り行われた。

七月十二日早朝、中部国際空港を出発した一行は、鹿児島県鹿屋市小塚公園内旧鹿屋航空基地特攻隊戦没者慰霊塔において、白井副庁長齋主の下、鹿児島県神社庁長川上親昌氏(代理鹿児島県神社庁監事・同肝付支部長打越道行氏)を来賓に迎え慰霊祭を斎行した。

当日は早朝から雨模様であったが、往時を偲びひたすらに慰霊の誠を捧げる参列者の心に伝えるかのように雨は止み、時が止まるかの如き静寂の中での祭典であった。愛知県内より遠路を真心込めて持参した日本酒、水、菓子などの庭積神饌は所狭しと供えられ、愛知県護國神社の舞姫によるみたま慰めの舞は英霊の心永久に静かなれとの想いを伝えるかのようにであった。愛知県神社総代会常任理事・

監事小久保博史氏による慰霊の言葉奉読の後、参列者全員が愛知県内より持ち込まれた榊で調製された玉串を献じ拝礼を終えた。祭典後、牧野副庁長、打越道行氏の挨拶があり、祭典はつつがなく終了した。

慰霊祭後、一行は鹿屋航空基地史料館を訪れ、国のため若き命を捧げた特攻隊員たちに更なる思いを寄せながら愛知県内へ戻った。

- 齋主 齋員**
- 齋主 愛知県神社庁副庁長 白井 清夫
  - 羽田八幡宮宮司 小柳津康文
  - 日吉神社宮司 笠井 剛
  - 愛知県護國神社権禰宜 背古 宗裕
  - 尾張大國霊神社権禰宜 糸川笑美子
  - 愛知県護國神社巫女 中村 和彦
  - 老津神社宮司 典儀



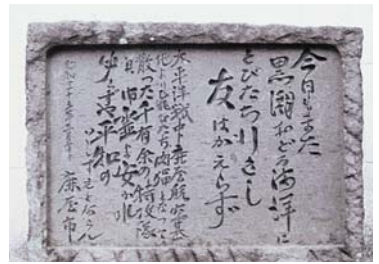
齋主・齋員参進



齋主祭詞奏上



鹿屋慰霊塔



鹿屋慰霊塔碑文



参列者全員玉串拝礼



慰霊祭祭場



巫女神楽を奏す